まほろん通信

VOL.35
（平成２２年１月１５日発行）

福島県文化財センター白河館
〒961-0835
福島県白河市白坂一里段86
TEL 0248-21-0700（代）
FAX 0248-21-1075
URL http://www.mahoron.fks.ed.jp

イベント「古代の鉄づくり」

11月７日（土）にまほろんイベント「古代の鉄づくり　製鉄炉の操業」を行いました。

朝８時に、10月初めから粘土ブロックを積み上げて作って完成させた製鉄炉に火入れを行い、木炭を次々に入れながら次第に炉内の温度を上げていき、９時30分から本格的な操業を開始。踏みふいごからの風により炉内の温度はどんどん上昇し、10時10分頃には1,200℃を超え、いよいよ最初の砂鉄の投入です。今回のイベントでは、炉内から立ち上る炎と闘いながら行う、炭入れや砂鉄入れなどの作業を事前に申し込まれた11名の方に体験していただきました。また、炉内に風を送るためのふいごを踏む多くの番子さんたちにも体力が続く限りがんばっていただきました。

お昼が過ぎ、午後０時30分頃と２時30分頃に炉の下に開けた穴から炉の中を鉄の棒で突っついたところ、チョロチョロと溶けた鉄が流れ出してきました。まほろんでは２年前と４年前の操業では実現できなかった炉内から鉄を流し出すことを目標としていたので、今回の操業はその目標を果たせたと言えるでしょう。その後、夕方５時頃まで炭と砂鉄を交互に入れ、夜の７時に操業を終了しましたが、砂鉄の不純物が溶けたノロを最後まで流し出すことができず、炉の中には鉄の他に、ノロや完全に溶けていない砂鉄が溜まってしまいました。

明けて８日（日）、炉を解体したところ、炉の底には大きな塊ができていました。今後は、この塊を割って鉄を回収し、製品づくりの素材とする予定です。参加された皆さん、大変ご苦労様でした。

まほろん森の塾

凧(たこ)あげ、羽根つき、独楽(こま)まわし。昔は当たり前だったお正月の風物詩も、今やほとんど見られなくなりました。第６回まほろん森の塾では、そんな昔の正月遊びの１つ、「連凧づくり」にチャレンジしました。

ふつうの凧あげすらあまり経験のない塾生たちにとって、連凧づくりは、もちろん初めての体験です。藤ヒゴで骨を作り、骨組みに美濃紙を貼り付け、さらに凧足をくっつける…。言葉でいうと簡単ですが、実際

〈小凧づくり〉

〈連凧完成！〉

にやってみると、これがなかなか難しい。塾生たちは、白河市みさかクラブの國田欣二・鈴木達夫さんの協力で、試行錯誤しながら、まず一人一枚ずつの小凧をつくりました。そして、最後にみんなの小凧をつないで、長さ７ｍの連凧が完成！

ところが，当日の天気はほとんど無風で、残念ながら、肝心の凧あげはできませんでした。でも、この共同作品は１月中、まほろんのエントランスに飾ってあります。ぜひご覧ください。

イベント「餅つき大会」

12 月６日（日）、毎年恒例のイベント「餅つき大会」が開催されました。今年の餅つき大会では、初めて千本杵といって雑木を削っただけの素朴な竪杵を使った餅つきを来館者の皆さんに体験していただきました。

餅といえばハレの日の食物であり、昔から正月や村の祭り、結婚式や上棟式などの祝い事では、何かといえば餅をついてきました。最近は餅つき機が普及したため、臼と杵を使った餅つきをすることは少なくなりましたが、お祝いなど特別な日には、今でも臼と杵で餅つきをすることがあります。

そうした中で白河市周辺など県南地方では、千本杵で餅をつく「熊野講」と呼ばれる行事が今でも各地で行われています。今回は、その中から白河市表郷社田

〈千本杵の餅つき〉

〈鏡餅づくり〉

地区で毎年七月土用の丑の日前後に行われている熊野講の「餅つき唄」をバックに、昨年までの横杵に加えて、新たに千本杵も使った餅つきをしました。千本杵の材料は、まほろん近くの山林を所有する地元の方から提供していただきました。

当日は親子連れなど約 350 人の皆さんに餅つき体験をしていただきました。体験のあと、用意した黄粉餅を皆さんに配りました。

また、講堂では社田地区と矢吹町原宿の熊野講のビデオ映像を上映したほか、餅と年中行事のかかわりや１歳の誕生祝いに行う「一升餅」など、餅にまつわるさまざまな話題を紹介するパネル展示、臼や杵などの餅つき道具のミニ展示も行いました。

小さなお子さんたちも一緒になって、昔ながらの餅つき体験を楽しんでいただけたようです。

イベント「まほろんを描こう」

平成 21 年 10 月 17・18 日（土・日）に、まほろんイベント「まほろんを描こう」を行いました。２日間で 42 名の方が参加され、まほろんの様々な場所で様々なものを題材にして、まほろんを描いて下さいました。一番人気の題材は、野外展示「縄文時代の家」でした。

イベントで描いていただいた作品は、約２週間館内に展示し、その間来館者の方々に「印象に残った作品」として３つ選んで投票していただきました。

投票数の多かった上位３名の方は、最優秀賞・優秀賞・佳作として表彰し、記念品を贈呈しました。これらの優秀作品は、更に約３週間、館内に展示しました。なお、右下の写真は、松本恵実さん（12 歳）の描いた最優秀賞作品です。モデルは、常設展示室にある「古墳時代の馬」。躍動感溢れる素晴らしい作品です！

＜表彰式のひとコマ＞

＜「縄文時代の家」を描く＞

＜最優秀賞　松本恵実さんの作品＞

地域連携事業「からくり劇場」

「まほろんからくり劇場」は地域の指導者の協力を得ながら、まほろん周辺の子供たちを対象として、郷土の歴史や日本の人々の生活の中に受け継がれてきた年中行事などを、楽しく体験･学習する機会を提供し、地域（郷土）への愛着や伝統行事などに親しみ心を育む一助にしていただくとともに、まほろんへの親しみと文化財等への理解を深めていただく事業です。

これまで「からくり劇場」は、白河市みさかクラブの國田欣二・鈴木達夫さんと連携し、童話の「きんたろう」「ももたろう」「さるかにばなし」のお話や「鬼のお面づくり」「風車づくり」「どんぐり笛づくり」、「豆まき」や「木馬に乗って射的」などを行い、地域の子どもたちと楽しい時間を過ごしてきました。

＜風車づくり＞

＜射　的＞

平成 21 年度最後となります「まほろんからくり劇場・冬の巻」は、下記の日程・内容で行う予定です。

１．日　時　１月 31 日（日）　10:00 ～ 15:00　（必ず昼食を持参して下さい）

２．内　容　①「つるのおんがえし」と「冬の行事」のお話
②豆だこづくり
③くす玉（花ふぶきをつくります）
④木馬からの射的（的に当たれば、手作り景品進呈）
⑤豆まき

３．募集人数　30 名（先着順）

４．募集締切日　平成 22 年１月 30 日（土）

文化財研修のご案内

１～３月の研修

１～３月の文化財研修は、基礎研修２コース、専門研修２コースを実施します。今回は、本年度最後の募集期間となりますので、みなさま、ふるってお申し込みください。なお、詳細はホームページや館内備え付けのチラシ等をご覧下さい。

１月 23 日（土）は、調査技術基礎研修「分布調査の方法」を実施します。県内の文化財担当者等の方を対象に、埋蔵文化財調査の基本となる分布調査について、事務手続き・現地調査の留意点・整理方法等を研修します。

２月 13 日（土）は､基礎研修「考古学と地方史研究」を実施します。考古学からみた県内各地の歴史を学ぶ研修で、甲子トンネルの開通を記念して、大内宿・下野街道の発掘調査成果を中心に会津地方の近世遺跡をテーマとします。

２月 25 日（水）は、専門文化財研修「史跡整備専門研修」を実施します。県内の文化財担当者等の方を対象に、史跡整備のための調査方法、企画・事務手続き等の他、地域の取り組み等について研修します。今回は、本年度開館した郡山市の大安場史跡公園を会場に、同施設職員から史跡公園建設の体験談を講義していただく予定です。

３月７日（日）は、基礎講座「文献資料と地方史研究」を行います。文献資料からみた県内各地の歴史について学び、考古資料との補完関係を通して歴史理解を深める研修です。今回は、近世白河地方に焦点を当てた内容です。

本年度の「おでかけまほろん」

体験学習支援事業である「おでかけまほろん」は、４月から 12 月の９ヶ月間で 24 の小学校を対象に実施しました。

地域別では、県北３校、県中 12 校、県南２校、会津２校、いわき４校、相双１校で、県中地区が最も多い状況でした。学年別の利用状況は１校のみが全児童対象でしたが、その他は５・６年生が対象になりました。

体験内容では火おこし体験が全体の 75％と最も多く、次いで土器（石器）さわりが 63％、弓矢体験 33％、勾玉づくり 21％と続きました。今年度唯一、昔の遊び体験の「毬杖（ぎっちょう）」を実施した伊達市月舘小学校では、特別ルールの勝ち抜け入れ替え制を採用し、大いに盛り上がる試合を行うことが出来ました。

まほろんには、県内各地域の調査資料が収蔵されています｡「おでかけまほろん」を実施するにあたっては、訪問先周辺の収蔵資料を持参し、子供達に実際に触れてもらう体験も行い、好評をいただいています。

来年度の募集：来年度も 21 年度同様、「おでかけまほろん」を実施する予定です。２月初めに募集を開始する予定ですので、是非、お申し込み下さい。詳しくは、まほろんのホームページをご覧ください。

〈弓矢体験〉

〈勾玉づくり〉

まほろんからのお知らせ

指定文化財展の模様替え

ご好評をいただいている指定文化財展（法正尻遺跡）は、１月７日（木）から模様替えを行います。一度ご覧になった方もまた新しい感動が体験できるはず。ダイナミックな縄文土器の美をご堪能ください。

ご利用案内

開館時間　9：30 ～ 17：00（入館は 16：30 まで）
休 館 日　月曜日（月曜日が祝日・休日の場合はその翌日、ただしＧＷ・夏休み期間中は開館）、国民の祝日の翌日（土曜日・日曜日にあたる場合は開館）、年末年始（12 月 28 日～１月４日）
入 館 料　無料（体験学習によっては、材料費が必要な場合があります。）
そ の 他　団体（20 名以上）でご利用の場合は，事前にご予約ください。